

会員数(52・5・1 現在)

逗子地区 107名

栗山地区 220名

大船地区 82名

合計 409名

吟道月報

日本詩吟学院風会認可

神奈川 碩心会発行

52・5・1

第58号

編集

加藤 冽風

投稿 大磯紀行

鴨立 沢

島崎藤村墓

新島裏終焉の地

心まき身にもあわれは知られけり

鴨立つ沢の秋の夕暮

西行法師が東上の途すから立寄

以 右の歌を読んだといわれる西

行ゆかりの鴨立庵は、大磯にある

早春の一日ここを訪れた

同行者は京山と石渡朗山さん

国電大磯駅で下りる 駅前を西へ

二百米位歩き国道一号线へ突き当

った目の前が鴨立庵である 道路

より稍低い境内 四五段の石段を

下り右に、志ぎたつ沢の石碑を見小
さな石橋を渡る。「鴨立庵」の扁額

のかかっ冠木門をくぐる。敷地は

余り広くないが、右側が庵主の住い

茅葺の肩素な作り、椽側に記帳用の

硯と和綴の帳面、見るとかなり遠方

よりの来訪者もある。吾々も筆をぬ

らす。正面に茅葺の堂宇。中に西行

法師の木像、又別のお堂には曾我の

五郎の愛人であつたと伝える大磯の

白拍子虎御前の小木像も安置されて

いる。他に丈なす松林の間に数基の

歌碑等又貞明皇后の行啓碑並に石佛

等も林立する。南側はすぐ海岸で今

は湘南バスで間をへだてられし

かには海岸え出られない。昔はいそ

しぎで降りてさぞ景色がよかつた

事と想像する。山鳩一羽松の梢を横

切る。

大磯駅へ戻る。商店の老媪に道を聞き島崎藤村の墓を尋ねる。駅前の小高い丘を左側から廻り丁度南側の地福寺の境内にあるこの寺、円如院船着山地福寺は真言宗東寺派の寺、御本尊は不動明王、境内は梅の名所で、白梅紅梅の老木数十株を盛りと妍を競い馥郁たる香りがあたりをたたきよう。門をはいると、左側石垣の下にそれとわかる真新しい小さい墓石、(最近作り直したと思われる)一基、島崎藤村の墓と彫られている。

戦争中昭和十六年東京より強制疎開でこの地に来られ、この地福寺の裏に住まわれた。

昭和十八年に死去されるまで二年この静かな大磯を愛され、又地福寺の梅を賞でられたこの縁によりここにお墓を作られた由、並んで昨年なくなられた奥さんの新しいお墓もある。

国道へ出て二百米程西へ行った所に寒梅の作者新島襄先生終焉の地である。丁度国道上の三角地帯にその碑があるが、道路の改正前にここに百足屋もぐらとゆう旅館があつて、その一室で臨終された由、新島先生の創立にかかると同志社大学によつてここは管理され石碑等も整されている。

その商店街に老舗「新杵」菓子舗がある。ここで名物「西行まんじゅう」と「虎の子まんじゅう」を買い帰途についた。

(元堀内支部 猪瀬花風)

会員の異動

新会員

逗子B支部

齊藤よし子

海老名市国分寺台三丁目三番

(電) 〇四六三(内) 六七六二

木の下支部

坂本 ^改

馨 ^{かおる}

逗子市久木四丁目五番七

(電) 〇四三一

塩瀬 春子

兼山町堀内五八八

(電) 六七九二

退会々員

198

一色B支部

鈴木梅山

247

石渡千泉

一色C支部
依田徳子